

研究成果情報 6

[成果情報名] 肥育後期飼料に乾燥パン屑を利用した低コスト肉豚肥育

[要約] 肥育後期の飼料に乾燥パン屑を15%給与した場合、慣行飼料で給与した時に比べ、肉質、食味は変わらず、肉豚仕上がりまでの肥育日数は短縮される。

また、低コストな乾燥パン屑を利用することで肥育後期の飼料費の低減につながる。

[キーワード] 低コスト リサイクル 食品製造副産物 乾燥パン屑

[担当] 山梨畜試・養豚科

[連絡先] 055-273-6441

[区分] 関東東海北陸農業・畜産草地

[分類] 技術・参考

[背景・ねらい]

養豚経営において飼料費は生産費の6割以上を占めている。そこで、飼料の一部を未利用資源で代用することで経費（飼料費）の削減を図り、収益性の向上に繋げる。

平成13年度に乾燥パン屑10%、15%を肥育前期から後期の間給与した場合、出荷日齢が短縮したが、肉質がやや劣る傾向があったことから、本試験では肥育後期に乾燥パン屑を利用し飼料化としての活用を検討した。

[成果の内容・特徴]

- 1) 飼料の15%を乾燥パン屑に代替することにより、慣行飼料のみの給与に比べ肉豚仕上がりまでの肥育日数は短縮される。（表1）
- 2) 乾燥パン屑15%の飼料代替では、肉質、脂質において慣行飼料給与時と変わらない。（表2）
- 3) 食味成績では、5点満点評価で、両区各項目の最大相違値が肉の味で0.29以下と小さく食味性は変わらない。（表3）
- 4) 肥育後期の飼料に低コストな乾燥パン屑を利用することは、経費（飼料費）の低減につながる。（表4）

[成果の活用面・留意点]

- ・この試験は平成16年9月から実施した秋季試験である。現在12月から冬期試験を実施しているため、冬期の結果を踏まえ成果の普及を検討する。
- ・乾燥パン屑の価格は供給業者との交渉により決定するが、搬入方法、使用量により変動する。

4 具体的データ

表1 発育成績

	開始体重 (kg)	終了体重 (kg)	肥育日数 (日)	1日増体重 (g)	飼料 要求率
対 照 区 (慣行飼料)	68.5	114.7	174.0	923	3.71
乾燥パン屑区 (乾燥パン屑15%代替)	70.0	113.3	167.3	1000	3.02

表2 肉質成績

	水 分 (%)	粗脂肪 (%)	加圧保水力 (%)	ドリップ (g)	腎脂肪融点 (℃)
対 照 区 (慣行飼料)	72.9	2.61	74.6	3.99	45.8
乾燥パン屑区 (乾燥パン屑15%代替)	73.4	2.32	75.3	4.12	45.6

表3 食味成績

	対 照 区	乾燥パン屑区
かんだ感じ	3.29	3.35
軟らかさ	3.24	3.24
多汁性	2.88	2.88
におい (かおり)	3.25	3.25
肉の味	3.24	3.53
総合評価	3.12	3.18

数値は5点満点評価による平均値

表4 肥育期間の1頭あたりの飼料摂取量及飼料費

	対 照 区	乾燥パン屑区
飼料の総量 (k g)	171.3	131.0
慣 行 飼 料	171.3	111.4
乾燥パン屑	0	19.6
飼料費 (円)	5,139	3,813

※飼料費は慣行飼料30円/kg・乾燥パン屑24円/kgで算出

[その他]

研究課題名：未利用素材の豚飼料化技術の開発

予算区分：県単

研究期間：平成16年度(平成15～17年度)

研究担当者：石田昌弘 金高弘志 赤尾友雪

発表論文等：山梨県畜産試験場研究報告51号掲載予定